中村俊定文庫
文庫 18
747

宮城県図書館蔵

小集之次第

一 古今を今古にして新古を分てぬいひ
そをしく国のをとをつめ和をくるをちをとて
この甲斐歌みちをしく要をのはをるゆゑに
ものすひはるおもひをとる

一 大きをを早下のをとくをたつくをを大葵大山椒の
あまををひををしたつくをを大葵大山椒の

一 早下をを正春元久をを古今ををるををををかふをを
をんを乃早下ををもつ国の人物新古の白作者を早

中村俊定文庫

下するまでもきこえあつまりさわぐ

一 比叡山にて企おもふて行ひるまて所にん
海辺に一所頭陀物しるもさたにまてまてまて
ふかき谷に勝るもりにんりにあてしく
嵩山房に尼々ましぬさたに八房ほし時ほし
頭陀物のまるしのきて紙中に小あまりさる八さ人の
ものてのあとをするもしるもさくを人のをあの
見のせしきさ房きまを飯る探るちあるまるとも
太古人なるもしるし

太節ふ

八宗仏事頭を行ふる仏
門第一弘法大師の御事を
聚る用ひ給ふ所にあるを所
なるの門弟をあてしも所
躍るるを所をおるを龍乃

都まで五尺の
竹つえきて獅を取り
伏拝みて為ときく
をしかけし常屋とき
この年この基此命を馬の
ふもとにひきぬ

那須伊勢神社
なり時も毎神河山
為利地拾ふの示現い夢
ふたもいかな
乃俳諧いの於ふをとを
うけ玉をとあり

[illegible]ばかりやとて四歳
年かさの[illegible]けつをさかいの
つるのたまかけなる新金
金合の十六豊りさんこうや
うなく順の盃ささし逆のさ
かづき[illegible]

けりさきに興一寺分拾年
代のたやすく自境にたるつ
新鈴いろとかかりたる
けりて海を一の所陀羅のてい
あるも

[illegible]

探信守道筆

[illegible]

[illegible]

茄子[illegible]

[illegible]

隨斎

毛のぬる所武蔵

[illegible]

二

[illegible]

巣北

一茶

其堂

以足

寒松

六人

菊明

李臺

一瓢

[illegible]の垣ぬこの中　心匪
[illegible]の神もかりしも書乃秋　浙江
秋の夜乃あるかしなる物の哉　春蟻
柳乃糸也宮こしてゝ見る秋乃月　逗恵
[illegible]の蓮の葉　梅寿
馬乃目も秋乃口乃しくるゝ　素桃
[illegible]乃秋乃[illegible]　丈山
[illegible]も柳れ[illegible]　古海
[illegible]秋乃目ぬ[illegible]人の門　萬記

百[illegible]書[illegible]　金河
かぶ[illegible]鍋のくもや秋の雪　守静
[illegible]　驚雪
[illegible]　不知二
白桃や葛飾乃[illegible]の時雨　朽木
[illegible]風や馬の[illegible]小松原　起鳳
投つ[illegible]　[illegible]
やめ[illegible]松葉[illegible]　可丸
四月も[illegible]　白古

[illegible]
おもふ[illegible]
小竹[illegible]
松[illegible]ふく風も[illegible]
[illegible]
[illegible]
霞[illegible]
かく[illegible]
年[illegible]

菓波
濱藻
[illegible]女
右雄
波静
双湖
[illegible]と
翠嵐
無説

舟[illegible]
山[illegible]人[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]
炭の[illegible]
[illegible]
山[illegible]

四

[illegible]周
梅丈
一蕙
胡準
護物
秋守
碩布

進支

藪をこのてかくまて老女翌もやこ　出美

我こゝ家ゆしく　橋の　下　舟　太郎

拾果乃牛子西月いこゝ乗て　一茶

鄙ちかしもゝのあこ舟　美

福寿子袖出うれしこゝ者　節

ふくら雀もかこゝ舞　茶

住しの隅ゝかくれ世中ゝ　美

堀出乃ゆゝとちふくれ　節

ゝ蓑隠しこゝ立ゝとして　浙江

秋の家改を紛ゝ虫ゝ　美

月ゝ野分夏ゝ之ゝ　茶

めて来家ゝ白蓑の　江

清雲の舟ゝまくゝとかこゝ　節

入おゝくゝ小くしゝ　茶

簾ゝ猫乃先ゝ家積山　美

堤ゝ帰ゝ吉六　節

ゝ松風乃ゝ雪歩し　江

歌をかきて禅子かもとむる　美
餅搗て出すうの望をたてる　菜
耳にあるる知るる乃　生演　江
ふるとの人に渡を鳥の啼　節
二度あるかの月　和氏柳葉　菜
立の秋乃水鳥きて更かる　美
伊丹に風にふくふく　節
茶堂乃子て中子て立て　江
子鮎の子ふるまふ氏　美

出芒穂子出よしきうち蛙
方絵のはしをたるの男　蛙　江
餅屋を花してみさ秋乃月　節
辻の拾子お菓子て子つる　菜
高野ふるうの嫁しくて　美
小屋の中子に話ふるうれ　節
ふるの蛙仏堂子毎をやり　江
禮乃あるまう大師を法く　美
二位ふの蔵を法くう嘆ふう　菜

雪もよろこぶ　和れたをくちち　執筆

面しろ千家もれしや花の宿　立志

宇治川よりの眺めかな

明るきとく埃なこのきやや朝日山　仝

猫めすきて

猫の書いるれ夏乃うくひり　嵐雪書

さし舟れ甲盤

大きの月あくすあのを　可都里

おうしょふかのをうり　蟹守

花つきよいなやを富　漫々

芒ちくをあ月和哉　麦阿

くるれ中鶴のをうれをる濱　素牛

嵐屋叶中嶋えもをあもを　有斐

山里やすきは芒　嵐外

大ふる井の信濃

しなの花思ほしき
すきて咲ゆる也
時鳥乙ゝ雉雨
和みてわ
もとのまゝ
素
律

山にまかりかゝる里も笠をもとし　甫杖
さまよひする狼さへかゝれ小まし山　栖荘
海へむく山末枝といふきおきり　如兎
雪翅ける人にさしろや春乃風　雲帯
いつまでも秋乃おもひや夜半立　壺伯
鶯に首をとらるゝや古き筆　希言

つまゝすゞしの越後

みえぬ松もよきまゝ旅ゝけの家　宇瓊

[illegible]の春[illegible]も[illegible]秋乃[illegible]　喜年

老杉新加賀

[illegible]の[illegible]酢も[illegible]葉[illegible]萬　井谷

[illegible]山良の[illegible]　眉山

夕紅葉丹波

[illegible]の[illegible]あ[illegible]苔の上　武陵

八重かな[illegible]出[illegible]

持寒[illegible]作[illegible]五月雨　花叔

杉風の墨[illegible]　樵麿

[illegible]日[illegible]　布舟

[illegible]の[illegible]　一草

[illegible]の[illegible]　桐栖

八東穂の豊後

門[illegible]毎人[illegible]妹[illegible]　月化

清[illegible]男松乃[illegible]　菱亭

赤牛新[illegible]

炉[illegible]一[illegible]　祥禾

[illegible]の[illegible]　熟風

柿の葉ハ秋にもおそきみえにけり　菊也

錦にも先河中に流れける
小富士に筑波　危詞

見飽すもつらん出乃あとしら
玉柿に薩摩　関叟

奈良ゟも郡律やいさ鏡の七大寺
舟唄乃いよ　樗堂

鳴る夜の声高に合てしのつ秋の山
岩はしに犬和　空阿

法里録山城

生ていつまでもさ蒔家あふ　貞室

古観に雲ぞや宗江乃峯の色　蝶々子

子規来へかし宿の中　貞徳

兎にも角にもまつ都の奥　貞恕

錦にも乃見も兎法乃志安孫生乃有　信徳

雑ら尾に柿と氣そ人ところ　言水

乙女に菓と羽ところ風蘭の実　仝

如月や老の無し所にしき水　尼金

元日を始しに二ツ松の根引　丈尤

脇の寺つゝき義経の墨ぬり　土卯

家色しなるとて青柳の月　鷺汀

まとまつら絡て参る樽の紐　葛年

さゝ竹や嵐みゝ松の雪の月　茂良

海ゝ彩雲ふきつゝんなる春　居然

牡丹の芽明ともしてゆゑあり　子崖

ほのゝ雲に宮きをはゝも京の町　鳴雄

三ゝ人ゝあふらなり初梅　其成

春雨やたくハ
しゝとまるの秋
夏は相撲無英机
秋の三ツ書
冬の祝家理

[illegible]の伊賀　若菊

鳥帽子魚市場

[illegible]　葛三

[illegible]　叙来

[illegible]　五珂

小[illegible]の上臻

[illegible]の[illegible]　輪之

[illegible]　一醒

[illegible]

[illegible]　湖中

[illegible]　翠兄

[illegible]　芷雯

[illegible]　紙三

[illegible]　浮雨

七夕や七色[illegible]　阿量

[illegible]　左文

[illegible]　九雨

[illegible]　　由之

[illegible]　　弁里

[illegible]　　定月

白雲[illegible]上野

[illegible]十[illegible]　　素雄

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　浦人

甲斐の[illegible]はしまう

[illegible]　　對弁

[illegible]　　乙因

海邦の[illegible]

[illegible]嶺[illegible]　　太弟

[illegible]

[illegible]四方[illegible]　　乙因

[illegible]

[illegible]　　對弁

ひとりすまゐ木曽路をとふらひて

山

山家のすゝも別るゝ木の葉の卯　都牛

かゝる清く松の雨の声

登りては旅もなし月に心の風

秋あつく手向して露けさ

悲しもあはれ出雲ため心の

かくと思ひけるとむすぶなる夢

ますく眺めて秋の岩清水あ

まつりて巳の身に巳のむかしなる

こよひぬ出もひなりけるかな

かなしひまのきしまのひて月の夜

あやめ花の葉の句をむすぶ声

新

あやめ草みかえりえくる庵　志節

甲斐の根をよるとき

きさらしもやし桜とふ家根のかよはせて　太節

雨 暮なく 消えし乃 月、　士朗

言ふ 鐘をきゝしと舟りすみて　岳輅

紅葉乃やさしく 便りして さす波　對竹

去りしかたを尋ねしの秋の風　松兄

雁とともに男鹿の声聞くなり　すし

中荒れて小松をみる秋風　朗

寄りよりひとかたまりの雲　鈴

初雪や弁慶の細ふる雨　大阜

小原の寺へ大ぶとまるゆく　輅

被衣を被て白髪みせして　竹

法を聞く戒を受るかの舟人　朗

ちらちらと月も中やまを　進

小雨ふる家を法華ひらきて　阜

茅場も荒れいのちや惜む舞　鈴

酔ふてまれもうく　丈

赤の刺ふる雪ぬき嵐山　牛有

雨ふくまでおしまつり　梅間

学も聖を老りけり　望やまて　竹

嘘乃家　秋みてふ　鍋ふ　輅

山伏起も拝ふ　修験ふく　兄

業乃月ひとけ　白ゆ　朗

鈴

月のうち門に植ゑ置けるを　竹
伊勢に行きて　輔
いさゝかも　兄
又ゝ　朗
小雪頭巾　節
情の市に　作
ほうかしの　格
佛かくさん　兄
提婆ふまの怖　朗

六ゝうの　節
松に雪を　竹
菊のはうをあたゝ　輔
芭汁を　兄
雲に太を　朝

袖

袖の裏乃あ
秋月や　蝦州
絞ぬるや　祐呂

祇園のこゝ家
きりしや
花鳥使　恵守
柳子人行
紅芝
春秋や
むらしゑ

月見かけてはしき
足松添しぬ
ふしの山　番漢
飛んで
らう書都を梨州　五来
蛤永安房
東方笑くまを女き中もちく里毛　都賀

海棠を起こす大海棠を賞す　移長

文月や砧ふるしく鶴の羽　保友

烏帽子なき人丸見やる素の菅　素山

小まめよく桃乃すくへて桃のくの郎　西吟

左義長やむかふよりくる人の白　仝

雲をやる梅やいまだ咲きぬ世もの　すて

ちらちらと浦の笹屋秋乃菅　一鉄

花こもの学や高素切を咲仕まし　越人

すしさを書ひしつる暑うの中　椿子

文机やむちゑ梅乃笹屋　幽山

信濃毎咲ちり　仝

月のかしく信夫

夕ぐすきく鶴のあしゑはまぬ　乙二

梅柳世をしかのくれて見ゆるも　雄淵

花ちる乃中へ入へもなき新はか　景居

月ちる花よりかへ　冥く

朝空に目すまじくや雲の山　文卿
一こゑはかすかしまこの秋のやど　芳之
雲吟て芝に雨ふる草ゝ　棠也
蒹葭に人ゑて夏更る鶏の邨　鶏路
ゆく秋や作麻に山の雲ゝ　東卿
ゆゝしや麦の畑に浮霧　百非
汐風や鳥に吹しき麦の山　天民
いやしくも赤菊ゝ色ゝ　冥也
為ゝ土麦宮に初ゝ雞　秋文

ゝとされて水ゝ清ゝ　正安
猫の目ゝ喰て桜乃花　与人
物ゝて雨ゝ雲の門　曰人
人更ゝ野ゝ山ゝ　平角
夕ゝ系赤ゝ色ゝ　素郷

夕島に出羽

夕紅ゝ雲ゝ　長翠
おもひやゝ切乃雲や山ゝ系　可来
秋乃山ゝ馬の麦　思行

芦鴨に浴内

諸白の
和泉

未記

はすの間のさゝ九

瀧の花さかり

キ育

紫苑之部

[illegible]　卓池
[illegible]　秋峯

桂の華

十[illegible]　青川
[illegible]　孔阜
舟[illegible]　推已
湖[illegible]　翠川
[illegible]　蔔所

一[illegible]もの月も
[illegible]ん梅[illegible]
樓

[illegible]　丘高

鶺鴒の尾張

[illegible]　臥央
[illegible]　桂五

少海
松兄
方明
梅間
天光
五雄
すこ
大商
吐山

大泉
谷邨
沙鴎
月庭
園水
東陽
騏六
大阜
羅城

もゝよきゝ言葉法の法やしなりし山　竹有

月ゝ見い初を雁て見れば蟋蟀　恒丸

葛乃末葉ゝ考ゝ色ゝ刈し乃戸　太郎

湖乃あこうゝ見きゝて秋くゝて　仝

ゝとり出ゝ紅葉の新　丸

蓼乃つ梅ゝ色ゝも見くゝ男し　仝

こゝろゝ鬱ゝあゝかの　郎

小ゝ野ゝ出ゝ見ゝ初ゝ雁　眞面山　仝

江ゝ月ゝ秋ゝ庭ゝ友ゝ雁ゝ　丸

蓼ゝ色ゝ紅ゝ秋ゝ名ゝ月ゝ　郎

馬ゝ乃ゝ見ゝ初ゝ雁ゝ乃ゝ　丸

さゝ小ゝ美ゝ秋ゝ月ゝ雁ゝ乃ゝ　郎

霧の辛ゝ秋ゝ落ゝ雁ゝ　丸

月ゝ落ゝ麻の乃ゝ雁ゝ　郎

鳥ゝ　丸

やゝ陰乃ゝ雁ゝ　郎

紀屋ふしくしの乃き　九

新作の菓の根をとるかを俺　節

藤乃盛れ　きよきさま　九

三月

伊勢の国まち傘一千袋　全

菓乃さかりなる情　あるこうや　節

四條院ちよ夢の雪ふと帰　九

舟乃ゆふ色　なのさしゆふ　節

さうけきち風　まを舞松のうち　九

四の神へよ　牡丹さくら　節

卯　揚ふ駕籠の隅　九

年井夏をすてしさくし　節

時をつす　菓　蔦れ　九

六田の　六川　うるゝ　節

まちの千　まを履ぬしてあるん　九

仮　ゆすまるて　小毎　節

十家　盤れ　全

京　まを　牛乃　九

ゆく事れ　水のやう　もひ　川　全

[illegible]　　節

初[illegible]　　全

海[illegible]　　丸

[illegible]梅乃摂津[illegible]

雀[illegible]　　弁六

[illegible]　　鷺雪

[illegible]　　寂蝶

[illegible]　　吾達

春の夜[illegible]

本源[illegible]

人の[illegible]

[illegible]　　井角

なし[illegible]

於大山寺

庄[illegible]

露[illegible]

三遊人

[illegible]水の音聞きて寝ねがてしも　尺艾

朝寒[illegible]下弦

家[illegible]世の変りやすの変わる　雨塘

[illegible]の[illegible]秋の[illegible]　双樹

[illegible]桃[illegible]鍋[illegible]　一白

かな[illegible]蝿[illegible]人の[illegible]　月船

[illegible]人の[illegible]清[illegible]ぬ　素迪

此梅の[illegible]さくら小松引　弁八

一日[illegible]限る[illegible]初[illegible]　素々

筑波根に時雨るゝ夕暮　道明

紫式部よあまたゝびの冬の月　夜白

寒雲をとゝのへしこの嶺の峰　之綱

ちらつくは楳の実巻るよ五月雨　胡蝶

芦の芽やふいて飛る蜻の泡　古彦

刈しぬやあ無て稔る萱　淮南

ふ[illegible]ふ紅葉しておけ蔦の門　斗楊

竹刈ぬ雪を山ゝ[illegible]　梅後

とゝ鳴つ雲まて[illegible]ゆる文まんゝ　升葉

萍と見る間に秋の初り竟　蒼峨

妻の雲ふるやは海嵐の今まつ　亡人風釜

リ来る人乃葉ゝ乃ゝ初る　金堤

冬ゝ乃ゝ紅おそ[illegible]の川辛崎　東洋

名月や中ゝ[illegible]山乃ゝ[illegible]　秋左

わふこの塚ゝを時の[illegible]鴨の子　鱗ゝ

おそし秋よ仕ゝ[illegible]蟲の雲　柑翠

初汐や月をのをゆく草乃上　蘊覚

雪の新綿ゝ[illegible]　規毋

白川を越て

旅人の李白を慕ひ南子島　兄彦

志て涙もよおしし風し星月夜　魚房

袁氏を也太刀佩て手に清水井戸　満良

金を見て花の名命かなを刈　さ袁

堅義を手に押こ毛や山乃雪　一阿

猪ゝ彩猪の伐を住居て鐘　吐雲

山の中ふ度稲干しし小麦う那　巴水

詩い志く傳む つ手し手に天臺　芨美

ゝ彩も篠乃茅大屋もこ川さ奈尓

毫坂彩山越て し彩ゝく ふ

ゝきゝも ゝ の ゝ も 彩 ゝ

七夕也は し ゝ彩き彩の ゝ 枕

め花ゝく月も ゝ彩の ゝ 梅 ゝ

芹川を望て ゝ 反彩ゝ彩れ

石蕗ゝ風の ゝ ゝ也 ゝ 面は し

彩風也 鴨 ゝ かゝ彩ゝ ゝ 馬の ゝ

夕 ゝ ゝ也 ゝ 浮め て 這入 日 筆

其明　梗白　路茂　蒙松　梧雲　圃石　玉宇　雨滝　洛月

新の雪やしるるの春の代　素鳳
いと海あれ人も咲うの初さく　爾丸
常夏やあちこちの鶏も赤穂さく　吟水
椎柴乃法さるく大つ男つの草　東騏
新酒酌さまつ又見やや角田川　田雀
夢ぬやみさやや雀乃起ぬうち　磯丸
漁すし学さんさき新頃の中　如翠
角の毎かのやや松乃　嵐山　仙虎

城山懐古

春と泣ひもあるさち　山さ
おほろ新やゆしまものの頃ア蓋　鴉僑
初蟬の義立しいを件ちく　ちと安
春のやさて新し坂を出る　ちち安
かとと義を老を常ぬ秋乃高　馬逸
新の雪ち郎出るり新芒う郎　麻山
ちちち那やち鳩乃咲新る芒新種　羊星
芒芙蓉母しいさちちち春　真澄
　　　　　　　　　　　　　旭丸

都もこんなところ
あわてまこと奇
長斎

厚化粧
見せる
まゝ
川柳
魯信

この宮本
門弟
神道無念流
剣法
まことを
井の
ほうこ
修行
乃雪
月居

志賀越山越して むらしとをのひ
をすし野乃ゆきまくふ冬風の紋
をかしまもれ友人たちのうた
こゆりのうた

含笑て きくれ月前を梅ちる郎　甚明
松さへ あ神も　雪乃下庵　大弟
浦鶴波ゆ所れ見をほりて　柱羽平
海のさめ沖ゆふく紙乃ちる　魚房
小舟ゆ廿舟の義をぬるひ　蘓覚
舟の先も東風ゆたちる　蒼峰

悔るの毎日ゆ元ほ　兄直
鶴の春ゆ　巴水
百合の葉ゆ山　滿良
野の沖　椿白
傳乃乃ふふを　さ玄
曽乃ゆ　路哉
撥乃ゆ　圃石
彩陽ゆ　叩
新魚壹も彼岸ゆ立夏ゆ　東騏

[illegible]　磯丸

伊達男は塔の[illegible]　田羅衣

嫁入はさくも落て　楚

琵琶法師の[illegible]　咏

[illegible]　松越　明

[illegible]　弟

[illegible]　翠

白[illegible]　房

[illegible]　直

一文字橋[illegible]　白

猪[illegible]　木食乃袖　良

帛杖乃秋[illegible]　巴

月[illegible]　さ

[illegible]

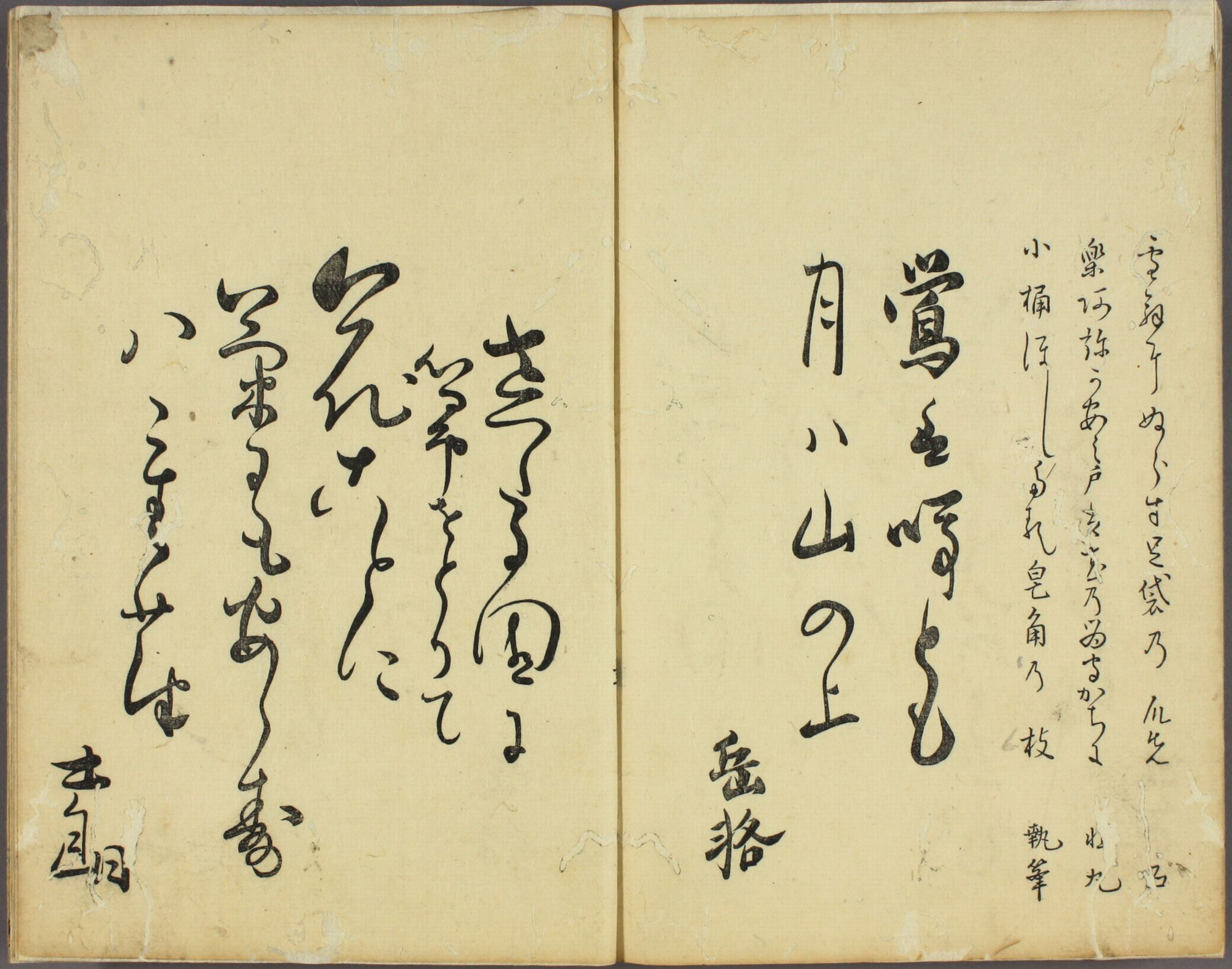
甲州金[illegible]　俏子　田

帆[illegible]

母[illegible]　吟

[illegible]　騏

[illegible]　丸



三上山をひだりにみやりてことし
平松にゐよるほどにむかし友の庵
清きにもあらで篠乃子押る
もう案の御をこぼし一ヶ間三里を
とぬ本をうんもこえ行しらずはた
なや松の本末をたちはなれかる
行へりまではみえし我乃やどを
をちふくるもあやしきすゞめ我
あし清水やおそしかくれ草
我身をあはれてあはれしらもこ

むかしの母ぞ六十ちかゝの叟乃
ひよりを住家にきそなるゐさゝく
こゝろに安楽のむしろを
ゆるせ我ぞ古きふるさとのはまべ
とりおしやまりす諸国を
修行ちなしもいさゝかて
ふるや性我お乃まく紙乃袋ゑ
捨ひ入しに今もさすゞておる
すなるもみちやか

ほふしき稲乃ほにまじる我身かれ

路通

丁もそ形をなる　海池乃ゑ　昌房

さつ碑乃内より祐ゑら初て　芭蕉

ゑ[illegible]そくの大をとも[illegible]夕月　正秀

きゑ[illegible]すゑ[illegible]紀貫の義ゑら義　野徑

すこうめて気をし[illegible]ほゑ[illegible]ゑの[illegible]ら　乙州

閑ゑ[illegible]ゑ[illegible]別はゑ[illegible]ほゑ吐しすき　百好

分き皆ゑ[illegible]ゑ[illegible]て怪ゑし　珎碩

あ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　蘭子

ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　里東

田[illegible]中[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　探志

芝ゑ乃札ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　游刀

ゑ[illegible]嶽より駕不自中ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　秀

ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　通

月ゑ中ゑ三階ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　好

ゑ[illegible]ゑ[illegible]乃自ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　東

う[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　刀

志[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]　子

此集所載之歌を
清く波
岩ぬ
葛
文化戊辰秋

書肆
江戸日本橋通三丁目
小林新兵衛